

水の文化

愛知用水



ミツカン水の文化センター

表紙上：長い旅を終えて、木曾の水が知多の蛇口から勢よく流れ出す。蛇口をひねれば得られる水が、作物を育み、命の糧に変わる。

表紙下：木曾の御嶽山山頂。標高3067m、剣が峰にて。有志でつくった通水50周年記念のTシャツ。

裏表紙上：国営農地開発事業、通称〈国営〉で拓かれた農地に、スプリンクラーが回る。愛知県・南知多町と美浜町で1976年度（昭和51）から着工された。

裏表紙下：左 〈国営〉の南知多地区豊浜団地で野菜をつくる山本武さん。茎芽も元氣一杯の赤玉のタマネギ。

中 南知多の土壌は頁岩が主。水を掛け、日光に照らすとボロボロと崩れる。牛糞をたっぷり入れて、耕し、土壌改良を施す。

右 南知多の地層は、2000万～1500万年前の海底に堆積した師崎層群と呼ばれる。頁岩は師崎層群の特徴的な地質である。

50年



吉田恒昭「公共事業の原点回帰」
 鈴木 昇「日間賀島 島人気質」
 澤田廣三「南知多 溜め池と支線管理」
 伴 武量「大府 通水前後の水使い」
 浜島辰雄「不老会を知っていますか？」
 水の文化楽習実践取材「多様な生きものを育む水辺」
 愛知県企業庁「愛知用水 工業用水としての足跡」
 新日本製鐵名古屋製鐵所「製鉄に貢献した水質」
 大橋一弘 シリーズ里川「なつかしの阿木川」
 瀬戸 普「流域を見据えて」
 堀内征二「歌われない校歌の三番」
 編集部「王滝の食文化を発信」
 小林正美「〈子どもの森〉は活路となるか」
 井爪 宏「通水50年は新たな始まり」
 古賀邦雄 水の文化書誌「愛知用水の軌跡」

水の文化 2010 36

36

水の文化 October 2010 No.

